

第 6 回

白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

日時：平成23年6月20日(月)

13:00～15:30

場所：弘前市

次 第

1 開 会

2 東北森林管理局 計画部長 開会の挨拶

3 議 事

(1) 平成22年度事業実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料2

(2) 平成23年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料3

(3) 自然再生計画内における活動状況について・・・・・・・・・・ 資料4

(4) 白神山地を考える旬間(9/1～10)の自然再生活動について・・ 資料5

(5) その他

4 津軽白神森林環境保全ふれあいセンター所長 閉会の挨拶

5 閉 会

配 付 資 料

- 資料 1 協議会委員名簿・協議会委員出席者名簿・事務局名簿
白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会設置要領
- 資料 2 平成22年度事業実施報告
- 資料 3 平成23年度事業計画
- 資料 4 自然再生計画内における活動状況について
- 資料 5 白神山地を考える旬間における自然再生活動の実施
- 別 冊 平成22年度年報 活動報告

協議会委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	職 業 等
あさぬませいご 浅沼晟吾	東北地域環境計画研究会 理事
いしおかれいじ 石岡玲爾	三陸森の会・弘南森の会 会長
おおくほつとむ 大久保勉	日本山岳会 青森支部長
そうまみつはる 相馬光春	森林組合連合会（白神山地ビジターセンター館長）
たむらさなえ 田村早苗	青森大学大学院環境科学研究科 教授
とうじょうあきひこ 東條昭彦	鱒ヶ沢町長
なかはまかずお 中濱和夫	赤石川を守る会 会長
ながいかつと 永井雄人	白神山地を守る会 代表理事
にしだひでいち 西田秀一	白神倶楽部 会長
ふくいだいきち 福井大吉	津軽人文・自然科学研究会 会長
まきたはじめ 牧田肇	弘前大学名誉教授
まかなえひろし 蒔苗博	青森県西北地域県民局地域農林水産部 林業振興課長
よしたみつる 吉田満	深浦町長

白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会設置要領

平成19年9月6日制定

〔名称〕

第1条 本協議会の名称は、「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」(以下「協議会」という。)とする。

〔目的及び設置〕

第2条 協議会においては、白神山地森林生態系保護地域(世界遺産地域)周辺の保全管理及び自然再生活動、モニタリング調査等に係る事項について協議し、森林管理局長に提言することにより、この地域の円滑な管理運営を図ることを目的とする。

〔協議事項〕

第3条 協議会は、森林管理局長の求めに応じ、次の事項について協議を行うものとする。

- (1) 森林生態系保護地域周辺のNPO等と連携した自然再生活動及び森林環境教育等に関する事項
- (2) 松くい虫等の対策に関する事項
- (3) モニタリング調査に関する事項
- (4) その他森林管理局長が必要と認める事項

〔構成〕

第4条 協議会委員の構成は次のとおりとする。

- (1) 委員は、学識経験者、地方公共団体関係者、NPO、ボランティア団体代表者等をもって構成する。
- (2) 委員は15名以内とする。任期は5年とし、再選は妨げない。

〔運営〕

第5条 委員会の運営は、次のとおりとする。

- (1) 協議会は、定例会年1回とし、必要に応じ臨時会を開催する。
- (2) 協議会の開催は、森林管理局長が召集する。
- (3) 協議会に座長を置く、座長は委員の互選による。
- (4) 座長は、協議会の議事を統括する。

〔その他〕

第6条

- (1) 協議会の事務は、主に東北森林管理局指導普及課において処理する。
- (2) この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、座長が協議会に諮って定める。
- (3) 協議会の委員は、森林管理局長が委嘱する。

平成22年度 事業実施報告

1 自然再生事業

*〔 〕内は、平成22年度年報「活動報告」に掲載されている箇所

白神山地周辺における自然再生活動については、自然再生マップに基づいた抜き伐りやボランティア団体等と連携しながら苗木の供給活動を実施したほか、ボランティア団体の活動に際し、安全・技術指導しながら支援をした。

また、津軽署主催(12/22開催)の「津軽流域国有林の森林計画に関する住民懇談会」において、白神山地周辺の自然再生の基本的な考え方や活動状況について説明し理解を求めた。

- ・ 5月23日 岩木山桜会議植樹会 [P4-④]
- ・ 6月 9日 屏風山周辺の海岸林での環境美化作戦(金木支署ほか) [P4-①]
- ・ 6月12日 三菱UFJフィナンシャルグループ、日本ユネスコ協会連盟等の植樹祭 [P6-④]
- ・ 6月25～27日 日本山岳会の白神山地ブナ林再生事業〈除伐〉 [P6-⑤]
- ・ 6月26日 三菱UFJフィナンシャルグループ、日本ユネスコ協会連盟等の植樹祭
- ・ 6月27日 ブナ植樹フェスタin赤石川(白神山地を守る会) [P7-⑦]
- ・ 7月上旬 抜き伐り実施
- ・ 7月 3日 一般公募による苗木供給活動 [P7-①]
- ・ 8月21日 赤石川を守る会の広葉樹の森づくり [P11-③]
- ・ 9月 4日 一般公募による苗木供給活動 [P11-①]
- ・ 9月11日 赤石川を守る会の広葉樹の森づくり
- ・ 10月9日 赤石川を守る会の広葉樹の森づくり
- ・ 2月27日 白神山地世界遺産地域周辺森林ボランティア団体意見交換会

2 森林環境教育等の推進

一般住民を対象とする自然観察会の開催、地元ボランティア団体と連携した森林散策や森林教室等を開催し、森林環境教育等を推進した。

- ・ 4月20日 あじがさわ白神山地ガイド倶楽部とのミニ白神現地合同研修会 [P2-②]
- ・ 5月19日 花いっぱい運動(鱒ヶ沢保育所) [P3-②]
- ・ 5月22日 第1回自然観察会(十二湖ほか) [P3-③]
- ・ 6月 6日 県道白神ラインクリーン作戦(白神歩く会、西目屋村) [P4-①]
- ・ 6月26日 第2回自然観察会(暗門の滝ほか) [P6-⑥]
- ・ 7月17～18日 青森県白神山地ビジターセンターふれあいデー(職員派遣) [P8-③]

- ・ 7月13日 自然再生等の個人学習受け入れ（弘前大学院生）〔P8－②〕
- ・ 7月24日 第3回自然観察会（北八甲田ほか）〔P9－④〕
- ・ 7月27日 元気森々白神講座（西目屋村立西目屋小学校）〔P9－⑥〕
- ・ 9月29日 記念植樹（鱒ヶ沢町立西海小学校）〔P12－③〕
- ・ 10月13日 青森県白神山地ビジターセンターの修学生自然観察学習（職員派遣）〔P13－①〕
- ・ 10月16日 青森県ユネスコの自然観察学習（職員派遣）〔P14－②〕
- ・ 10月23日 第4回自然観察会（くろくまの滝ほか）〔P14－③〕
- ・ 11月12日 ふるさと学習（鱒ヶ沢町立西海小学校）〔P15－①〕
- ・ 1月 8日 親子で学ぶ白神講座と木工教室〔P17－①〕

3 森林生態系保護地域の保全管理

白神山地遺産地域における保全管理にあたっては、ボランティア巡視員、グリーン・サポート・スタッフ、津軽署と情報交換し、連携した巡視活動に取り組んでいる。

22年度においては、白神山地世界遺産地域連絡会議（環境省、青森県、東北森林管理局）の呼びかけによる合同パトロールに参加する共に、入山マナー向上の啓発を図るため、パンフレット配布を行いマナー遵守を呼びかけた。

さらに、これまでに発見された違法伐採について、関係町村への情報提供依頼やHPの捜査情報の掲載など一般住民への情報提供を呼びかけている。

4 希少野生動植物の保護

希少野生動植物の保護については、白神山地周辺地域に生息するクマゲラの営巣木確認調査を5月下旬以降実施したものの、生息を確認すること出来なかった。引き続き確認情報の収集や現地調査を行うこととする。

また、地域内の固有植物であるシラガミクワガタ、ツガルミセバヤ、トガクシシヨウマなどの植生状況確認を行った。（5月下旬～12月上旬）

緑の回廊における動物の生息調査については、試験的にセンサーカメラの自動撮影によるモニタリング調査を秋田・青森県境の矢立峠周辺で実施した。（4月下旬～11月上旬）

奥赤石川林道沿いに設置した自然再生モデル林（2060い林小班：20年度設置）の調査状況について、2月3～4日、局主催の「森林・林業技術交流発表会」で発表した。

5 松くい虫被害防止対策

津軽署主催の美しい森林づくり松くい虫防除帯森林造成事業の植樹祭については、青森・秋田県境付近の深浦町大間越山国有林において、五所川原農林高校、つがる市民や三陸森の会などがボランティアで参加する中、関係団体等と連携しながら

ら実施した。

- ・ 5月15日 約150名が参加、オオヤマザクラ、クリなど650本植樹した。

6 協議会等の開催

6月16日、第5回白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会を鱒ヶ沢町中央公民館で開催した。

午前に自然再生活動拠点箇所において現地検討会を実施し、午後に協議会を開催した。

7 普及啓発の実施

(1) ふれあいセンターの活動展等の開催

白神山地周辺における森林の環境保全や森林整備の重要性について、広く国民から協力と理解を得るため、また、当センターの取組活動について、地域住民にPRすることを目的に、ふれあいセンター活動展等を開催した。

・ 白神山地ビジターセンターふれあいデー（7月17～18日 西目屋村）において、木工教室を実施し約90組の親子が参加した。

・ 弘前市商店街主催の2010カルチャーロード（9月13日 弘前市）において、PR用パンフ配布や白神山地の写真などを展示した。

・ 青森市（2月25～28日サンロード青森）、つがる市（3月11～14日イオンモールつがる柏）において、活動展を開催した。

開催予定していた弘前市（3月18～21日さくら野弘前店）は、東日本大震災により中止した。

(2) 広報誌の発行及びホームページの充実

ふれあいセンターの広報誌「津軽白神ふれあい通信」を毎月発刊し、関係市町村、学校等の教育関係団体、自然観察会参加者などに郵送し、さらに局のメールマガジンや当センターのHPに掲載し、イベント案内や活動状況等を紹介して森林環境保全の普及啓発に努めた。

平成23年度 事業計画

1 自然再生活動

- (1) 自然再生を推進するため自然再生計画内の活動拠点において、一般公募による植樹活動及び苗木供給活動などに取り組む。
- (2) ボランティア団体等が実施する自然再生活動（植樹、育成等）において、技術・安全指導により、支援協力する。
- (3) ボランティア団体等の意見交換会などを通じて、ボランティア団体への情報提供やニーズを得るなど情報を共有しながら連携を深める。

2 森林環境教育等の推進

(1) 森林教室の開催

各学校の個別訪問、広報誌及びHPへの掲載等で呼びかけ、森林教室や体験林業を実施し森林環境教育の推進を図る。

(2) 一般公募による自然観察会の開催

本年度、新規としてNo.6を実施する。

No	イベント名	日時	場所	人員
1	「早春の瀑布を鑑賞し白神を体感しながら草花鑑賞」	5月28日(土)	鱒ヶ沢町 くろくまの滝・ミニ白神	20名
2	「初夏の花の湿原で植物・野鳥観察と自然の造形美を巡る」	6月19日(日)	つがる市ベンセ湿原 小泊海岸	20名
3	「北八甲田山連峰の高山植物観賞と蔦沼散策」	7月23日(土)	青森市田茂菴湿原 蔦沼	30名
4	「ぶな巨木とふれあい紅葉の奥入瀬溪流を散策」	10月19日(水) 10月22日(土)	十和田市奥入瀬溪流 *10月19日は会員限定	30名
5	「秋真っ盛りの湖沼群を巡り日本キャニオンを観る」	10月29日(土)	深浦町十二湖	30名
6	「巨樹・巨木巡り」	6月25日(土) 7月30日(土) 8月27日(土) 9月24日(土) 10月15日(土)	白神ライン～赤石川林道 ・追良瀬大橋のカツラ ・ブナ遺伝子保存林のカツラ ・矢倉山の大杉 (周辺の遺伝子保存林) ほか	各 10名

(3) ボランティア団体への支援

各団体が実施しているイベントなどに積極的に参加し技術指導等で支援する。

(4) 地元等の関係団体との信頼・連携の向上

ボランティア団体等が実施する美化清掃活動など各種活動に積極的に参加・支援し、互いに情報交換しながら信頼と連携の向上を図る。

3 森林生態系保護地域の保全活動

(1) 津軽署をはじめボランティア巡視員、グリーン・サポート・スタッフと連携した巡視活動を実施する。

(2) 白神山地遺産地域連絡会議と連携し合同パトロールやマナー向上パンフの配布などを実施する。

4 希少動植物の保護

(1) クマゲラ生態調査

- ・クマゲラの生息確認と営巣木の確認調査を実施する。
- ・確認後は監視カメラ等により営巣・ねぐら木を撮影し、繁殖活動等を記録する。

(2) センサーカメラによる動物生息調査の実施

- ・自然再生モデル林及び緑の回廊内に設置し調査記録する。

(3) 地域内の固有植物の植生状況の確認

- ・シラガミクワガタ、ツガルミセバヤ、トガクシショウマなどの植生状況調査を行う。

5 森林病虫害防止対策

(1) ナラ枯れ防止対策

防止対策として経常の巡視を行うとともに、特に5月上旬の芽吹く時期及び、9月上旬の落葉前時期を監視強化月間に定め、被害の早期発見と速やかな対応を行う。

(2) 松くい虫被害防止対策

松くい虫被害を防止するため、経常業務と併行してアカマツなどのマツ類の監視を行い、異常な葉枯れ木などを発見した際には、速やかに現地確認を行い対応する。

(3) ブナ葉食害

被害状況を把握するため、5月上旬のブナが芽吹く時期に虫を捕獲又は写真撮影などの現地調査を行い、捕獲した虫サンプルを研究機関に確認依頼し結果を得た後に対応策等を講じる。

6 白神山地を考える旬間におけるイベント開催

9月1～10日を「白神山地を考える旬間」に設定し、白神山地が世界自然遺産に登録された意義や遺産地域の保全管理と適正な利用法などを考えるため、地元小学生による自然再生活動（植樹）及び森林教室を実施する。

7 当センターのPR活動

(1) 広報誌「津軽白神ふれあい通信」による情報発信

広報誌「津軽白神ふれあい通信」を毎月発刊し、関係者等へ発送、HP及び局メールマガジンに掲載し情報発信する。

(2) ふれあいセンター活動展の開催

当ふれあいセンターの活動をPRするため、2～3月の間に青森市、つがる市、弘前市において活動展を開催する。

自然再生計画内における活動状況について

1 苗木の供給活動 (H22 新規)

(1) 目的

白神山地周辺地域の自然再生に向け、植樹する際に必要な広葉樹の苗木を供給するため、山取り苗を採取、現地に仮植した。

(2) 実施月日、参加者等

- ・ 7月3日 東赤石山国有林2058林班と小班 17人参加
- ・ 9月4日 東赤石山国有林2057林班ぬ1小班 14人参加

(3) 実施内容

兼平樹木医から採取方法等の指導を受けた後、苗床の作成、苗木を採取し、仮植した。

採取本数は2回で約300本程度、樹種は主にブナ、イタヤである。

作業終了後、周辺にある奥赤石ブナ林木遺伝資源保存林内を散策した。

(4) その他

- ・ 実施状況の様子は別紙1

2 抜き伐りについて (H22 新規)

自然再生マップに基づいて、スギの抜き伐りを7月上旬に下記のとおり実施した。

(1) 実施方法

- ・ 光・斜面の向きを考慮しながら現地の状況に応じ、1ヶ所概ね100m²(半径5.75m)の群状に伐採した。
- ・ 津軽森林管理署の請負事業により実施し、実施に当たっては当センター職員が現地指導に当たった。
- ・ 植樹を必要とする箇所を把握するために、抜き伐りした箇所をGPS測定し、箇所毎に広葉樹の本数、下層植生の分布や倒木の位置を調査、記録した。(別紙2)

なお、調査は毎年実施し、経過を観察していく。

(2) 実施箇所

- | | | |
|--------------|--------|--------------|
| ・ 2058林班と小班 | スギ36年生 | 18ヶ所 |
| ・ 2057林班ぬ2小班 | スギ37年生 | 9ヶ所 |
| ・ 2057林班ぬ1小班 | スギ38年生 | 37ヶ所 |
| ・ 2057林班い1小班 | スギ37年生 | 88ヶ所 (本年度調査) |

(3) その他

自然再生の活動が可能な拠点を明示し、地域住民やボランティア団体、企業等による多様な参加を呼びかけることを目的に、活動拠点の案内板を設置した。(別紙3)

3 平成23年度の活動内容

(1) ボランティア団体等との活動内容

No	活動内容	日時	場所	対象
1	山取苗の採取および仮植	7月9日(土)	鱒ヶ沢町 町道赤石溪流線の抜き伐り周辺箇所	一般者(10名) ボランティア団体
2	抜き伐り箇所の林地整備	7月10日(日)	鱒ヶ沢町 抜き伐り箇所	一般者(10名) ボランティア団体
3	抜き伐り箇所等への植樹	9月2日(金)	鱒ヶ沢町 2057ぬ1林小班	鱒ヶ沢町立西海小学校 ボランティア団体
4	抜き伐り箇所の林地整備及び植樹	9月3日(土)	鱒ヶ沢町 町道赤石溪流線の抜き伐り周辺箇所	一般者(10名) ボランティア団体

(2) 昨年度に引続き、抜き伐りの箇所ごとに、広葉樹の発生状況や生育状況を調査していく。

(3) 津軽森林管理署と連携して、24年度以降に抜き伐りを実施する箇所を検討する。

平成22年度 苗木供給活動の実施状況

実施月日 7月3日(土) 天気 晴れのち大雨
実施箇所 東赤石山国有林2058林班と小班
参加者数 17名



作業前の安全指導等



兼平樹木医による指導



山取木の採取状況



苗床への仮植状況



森林散策(くろくまの滝)



記念撮影

実施月日 9月4日(土) 天気 晴れ
実施箇所 東赤石山国有林2057林班ぬ1小班
参加者数 14名



山取木の採取状況



苗床作りの状況



苗床への仮植状況

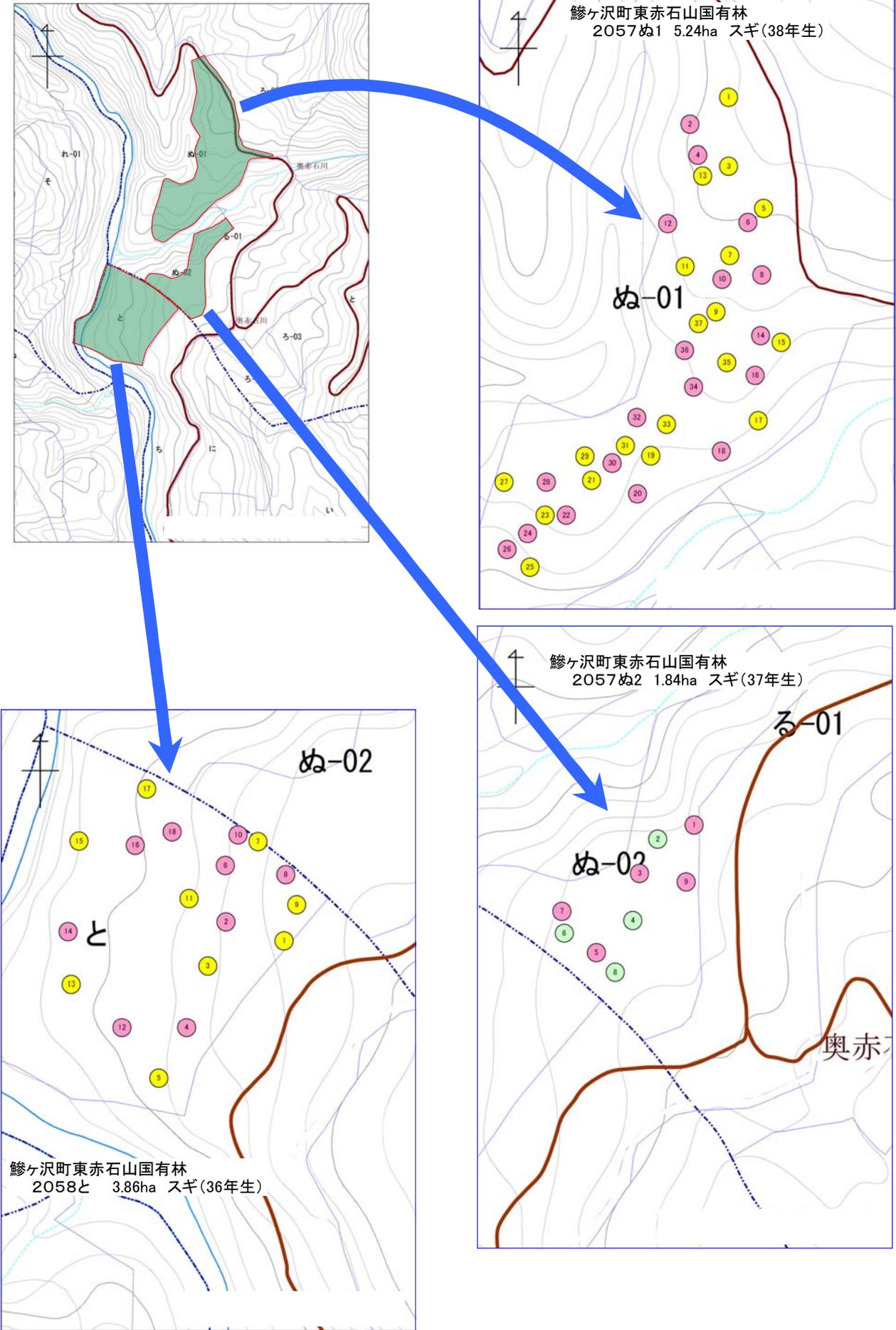


ブナ林木遺伝資源保存林の説明



森林散策

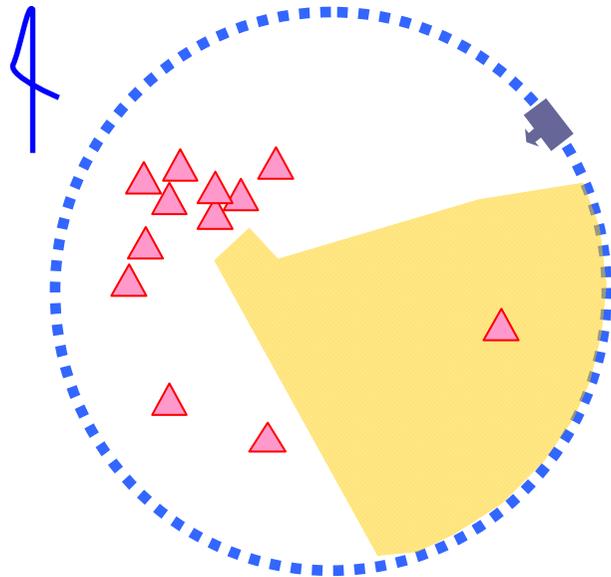
抜き伐り箇所の配置図



抜き伐り箇所の広葉樹と倒木の分布状況

林班	2057
小班	ぬ1
番号	37
調査年月日	H22.10.13

位置
北緯 40.34.53.916
東経 140.07.37.902



凡例

△	稚樹樹高 ~6m
□	稚樹樹高 ~10m
●	稚樹樹高 10m~
■	倒木の分布範囲
➡	カメラ撮影位置



資料5

平成23年度 白神山地を考える旬間における自然再生活動の実施（案）

1 実施日

「白神山地を考える旬間（平成23年9月1～10日）」期間中の9月2日（金）に実施する。

2 場所

鱒ヶ沢町大字一ツ森町字東赤石山国有林2057ぬ1林小班外（別紙位置図）

3 内容

活動拠点のスギ人工林（38年生）において、植樹可能な箇所にブナ等の山取り苗木を植栽する。

午前中は植樹活動、午後は奥赤石ブナ林木遺伝資源保存林内を森林散策する。

4 参加予定者

鱒ヶ沢町立西海小学校の4年生（21名）

5 その他

学校の都合により実施日は固定。悪天候の場合は、当センター庁舎内等において森林教室や丸太切りなどを行う。

位置図

至 鱒ヶ沢町

至 西目屋村

森林散策エリア

白神ラインと町道赤石溪流線の合流地点

至 深浦町岩崎

昼食場所

凡例

- 植栽箇所
- 仮植(苗床)箇所

